



令和2年度

## 北海道ゼロ・エミ大賞

## 大賞

受賞事業所	ヨコハマタイヤリトレッド株式会社 北海道事業所 (取締役常務兼北海道事業所長 松村 智之) 住所：苫小牧市宇植苗162-2 電話：0144-58-2411
取組名	使用済みタイヤの循環的な利用と二酸化炭素削減 開始時期：昭和48年(1973年)5月 継続期間：47年(申請時起算)
取組内容	摩耗した使用済みタイヤのトレッド(接地)面を張り替える「リトレッドタイヤ(更生タイヤ)」の製造によるリデュースの取組。製造・廃棄時におけるCO <sub>2</sub> 排出量を新品に比べ64%削減、製造時のタイヤくず等もリサイクル業者と連携し、全量リサイクルしており、廃棄物のゼロエミッションを達成している。
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和48年に販売開始以来、長年渡り、廃棄物のリデュース及び二酸化炭素の排出抑制に貢献している事業。</li> <li>また、タイヤ製造時のみならず、事業所から排出される廃棄物も、平成23年(2011年)から全量リサイクルしており、事業所として廃棄物のゼロエミッションを達成している点も評価。</li> </ul>

受賞事業所	株式会社 菅原組 (代表取締役 菅原 修) 住所：函館市浅野町4番16号 電話：0138-44-3710
取組名	船舶内蓄電池システムを活用した二酸化炭素排出量削減 開始時期：平成29年(2017年)12月 継続期間：3年(申請時起算)
取組内容	海洋土木事業で使用する大型作業船に、作業時の余剰電力(発電はディーゼルエンジン(軽油))を回収・蓄電する蓄電池を導入し、停泊時は蓄電池の電力を使用することにより、エネルギー利用の効率化を図った。発電機の稼働(軽油の使用)を減らしたことにより、二酸化炭素の排出量を削減。
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内でも珍しい作業船に蓄電池を導入した先進的な取組。</li> <li>エネルギー使用の平準化により、二酸化炭素の排出を抑制した取組であり、他の事業所の模範となる。</li> <li>また、BDFの活用実績や、地域における清掃活動・植樹等、多方面に渡る環境保全活動も評価。</li> </ul>

## 優 秀 賞

受賞事業所	株式会社 イトイグループホールディングス（代表取締役 菅原 大介） 住所：土別市朝日町中央 4527 番地 89 電話：0165-28-2600
取組名	CLT工法による新社屋建築及び木質バイオマスボイラーの設置 開始時期：令和元年(2019年)6月 継続期間：1年（申請時起算）
取組内容	新社屋を道産木材（トドマツ）を用いたCLT工法により建築。在来工法より多くの木材を使うことにより、プラスチック材の削減や、より多くの二酸化炭素の固定が図られる。さらに、暖房用のバイオマスボイラーも設置し、燃料には、グループ企業においてダム流木を破砕したチップを利用し、廃棄物及び二酸化炭素の排出量を削減している。
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新社屋建設にあたり、省エネ性に優れた道産木材のCLT工法を採用した先進的な取組。さらに、破砕したチップを燃料とするバイオマスボイラーを導入している点も評価。</li> <li>• 社屋見学を通じた認知の拡大や、この取組を今後の事業に生かすことにより、CLT及びバイオマスエネルギーの普及に寄与することが期待される。</li> </ul>

受賞事業所	株式会社 F・K（代表取締役社長 船橋 悠太） 住所：北見市泉町4丁目7-12 電話：0157-25-3085
取組名	国内初CLT建築による積雪寒冷地型ZEB社屋の実現 開始時期：令和元年(2019年)12月 継続期間：1年（申請時起算）
取組内容	新社屋を道産木材（カラマツ）を用いたCLT工法により建築。在来工法より多くの木材を使うことにより、プラスチック材の削減や、より多くの二酸化炭素の固定が図られる。さらに、太陽光発電及び地中熱利用等により国内初のCLT建築による積雪寒冷地型の「ZEB」を実現。（二酸化炭素のゼロエミッションを達成している。）
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新社屋建設にあたり、道産木材を用いたCLT工法を採用した先進的な取組。また、太陽光発電と地中熱利用等の設備も導入したことにより、ZEBを達成。（二酸化炭素のゼロエミッションを達成）</li> <li>• 社屋見学を通じた認知の拡大や、この取組を今後の事業に生かすことにより、CLT及びZEBの普及に寄与することが期待される。</li> </ul>

受賞事業所	<p><b>株式会社 遠藤建築アトリエ</b>（代表取締役 遠藤 謙一良）  住所：札幌市中央区北4条西20丁目1-18 電話：011-644-0070</p>
取組名	<p><b>木材の生産から関わり、道産木材を利用した社屋の建築</b>  開始時期：令和元年(2019年)10月  継続期間：1年（申請時起算）</p>
取組内容	<p>新社屋を全量道産材（エゾマツ等）を用い建築。木材の生成工程から関わるにより愛着が湧き、建築物の使用の長寿命化が図られる。さらに、建物内の空気の流れにより、効率的に室温をコントロールできる設計を行い、二酸化炭素の排出量を削減。</p>
選考理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 新社屋建設にあたり、構造材に道産エゾマツを用いた珍しい取組で、床面に通気孔（スリット）を設け、空気の流れによる暖房の導入により、二酸化炭素の排出量を削減。</li> <li>• また、この取組を今後の事業に生かすことにより、二酸化炭素の吸収源となる林業の活性化に寄与されることが期待される。</li> </ul>